



鉄のふしぎ? 博物館

■8

『鉄のふしぎ博物館』
に來館される子ども達は
磁石が大好きです。鉄を
吸い付ける力や、磁石ど
うしが反発するのが不思議
でならないようです。
現代人は身の回りにたく
さんの磁石があり、毎日
のように見たり触ったり
しています。磁石が中国
やヨーロッパからの輸入
品で庶民が手に届くもの

和漢三才図会(わかんさんさいずえ)

衣川製鎖工業・衣川良介社長

画像はカラーと
交換しています。

和漢三才図会(説明文)



ではなかった江戸時代、
彼らは磁石をどのように
知り、どう感じたのでし
ょうか? 江戸時代の絵入
り百科事典、和漢三才図
会から調べてみました。
中国の薬学書『本草綱目』
を引用して説明、その後
著者の意見をのべていま
す。以下に磁石の項目の
一部を紹介します。
磁石の産地は、慈州・
徐州、および南海の傍の
山中にある。慈州のもの
は毎年皇帝に献上し最も
良い。よく鉄を吸う。数
十の鍼(はり)あるいは
1-2斤の刀器を、ぶら
つかせて回転させても、
それが落ちないものが良
い。磁石は強さによって
三種類に区分されてい
る。最も強いものを『延
年沙』(約600g)は、4面
に鉄1斤を吸う。次は
『統采石』、4面
で鉄8両
を吸う。
5両(約
20g)を
吸うもの
『磁石』
という。



天然磁石(岡山県柵原鉾山産出)

著者の意見。磁石の大
きさは一定していない。
およそ石の重さは一斤は
かりのもので鉄30錢目
(約110g)を吸うも
のを珍とする。あるいは
銅の皿を隔てても針を吸
う。その氣勢は実に生命
あるものようである。
しかも頭尾があつて頭は
北を指し尾は南を指す。

頭は尾の力よりも勝れて
いる。これを破砕しても
頭尾ごとくく備わり、
餌の鉄屑に飽いたときは
鈍く、飢えると痩せる。も
し火で焼くと死んで南北
を指すことできなくな
る。また大へん煙草を忌
む。工人が慈石の鍼を造
って鍼の本を石の頭です
り、末を尾ですれば、鍼
の本は北を指し、末は南
を指す。既にすった鍼を
慈石の傍らに付け寄せる
と回転し、鍼の本は頭に
つき末は尾につく。これ
によって石の頭尾を知る
ことの出来るのもまた一
つのふしぎである。
私の意見。磁石の力を
誇張して書いてあるよう
です。写真の天然磁石
(岡山県産)は重さが8
70gでゼムピン16ヶ
(約5・8g)つきまし
た。600g(1斤)の
天然磁石で、同じ重さの
鉄を吸うのは見たことが
ありません。磁石を火で
焼くと死ぬ。面白い表現
です。
『和漢三才図会(わかん
さんさいずえ)』
江戸時代の図入り百科事
典。編者は大坂の医師寺
島良安。1712年(正
徳2)ころ完成。
『本草綱目』(ほんそう
こうもく)
中国の薬学の著作。作者
は明朝の李時珍1596
年(万曆23年)に南京で
上梓された。
江戸時代の度量衡
1貫=千匁3・75ギ
マ、1斤=160匁0・
60ギマ、1両=1匁=1
錢目3・75ギマ